

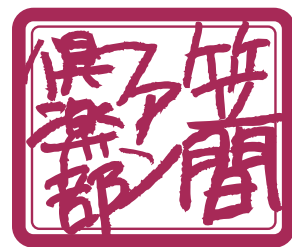
笠間が好きなひと。応援したいひと。この指とまれ！

笠間ファン倶楽部通信

2011 秋号

VOL.028

http://www.city.kasama.lg.jp/ss_info/fanclub/index.html



笠間の菊まつり & 匠のまつり 秋のイベント盛りだくさん！

Kasama

表紙の写真／左…笠間の菊まつり～笠間稲荷神社の菊あかり回廊

右上から…西念寺、笠間稲荷門前通りの菊あかり回廊、笠間登り窯復興プロジェクト

心を洗う笠間の1日【パワースポット巡り】

詳しくは

笠間観光協会 HP 検索

2011年は親鸞聖人の没後750年。親鸞ゆかりの地に建つ西念寺で法話を聞いた後、昼食には地元の素材を使った心にも優しい精進料理を楽しみます。午後からは、曹洞宗の鳳台院で坐禅と写経で心をリフレッシュ。カラダのまん中にエネルギーが充電できるパワープランです！

旅行代金／お一人様 5,250円～6,500円



旅行プラン



笠間昔話／親鸞聖人と笠間の関係【第3回／最終回】

メイド・イン・カサマ／笠間の秋グルメ

秋のイベント情報／美術館めぐり、ほか

笠間再発見／笠間登り窯復興プロジェクト

笠間ファン倶楽部 会員特典ファイル

観光客が選ぶおすすめショップ

FAN FAN KASAMA

我らは笠間応援団！

なるほど笠間辞典

ほか



今井雅晴先生に聞く親鸞の魅力 稲田実乗住職に聞く西念寺お参りの心得

今年は親鸞聖人の750回忌にあたります。浄土真宗の宗祖である親鸞聖人と笠間の関わりは深く、関東在住約20年の大半を稲田草庵で過ごされたと伝わっています。そんな親鸞と笠間との関わりを3回連続で紹介している第3回。最終回となる今回は、親鸞について多くの本を書かれている今井雅晴先生と、西念寺の稲田実乗住職に話を伺いました。



1. 今井雅晴先生。1942年、東京生まれ。親鸞聖人の著書多数。現在、筑波大学名誉教授、真宗文化センター所長。2. 稲田禪房 西念寺(稲田御坊)の稲田実乗住職。御年85歳！3. 西念寺の山門。4. 西念寺前の水田の中にある見返り橋と和歌の石碑。
問い合わせ／西念寺 ☎0296-74-2042



おすすめの書籍／今井雅晴・著
「親鸞聖人 稲田草庵」

稲田草庵と親鸞聖人の関わりがよく分かります。歴史を知り、親鸞を知るシリーズの4作目。

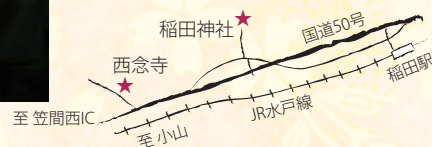
自照社出版／B6判・72ページ／840円

親鸞に造詣が深い今井雅晴先生は、大学院時代に恩師と自分の関係を親鸞と法然の関係になぞらえるなど、親鸞との深いつながりを意識してこられました。現在では親鸞研究をライフワークにされているほどです。そんな今井先生に、もし親鸞がこの時代に生きていたら何をしたいと思いますか？と質問してみました。難しいですね…と前置きされた後、「各地を回って人々の話を聞いてあげたいと思います」と答えてくださいました。

今井先生おすすめの笠間の場所をお聞きすると、西念寺のほかに、稲田神社(当時の稲田神社は大きく、親鸞の稲田草庵はほぼその境内にあったと推測される)を挙げてくださいました。そこで昔の人々がどんな風に安らか

な気持ちを得ていたかということのを、さわやかな里山の中で体験して欲しいそうです。

西念寺の稲田実乗住職に、西念寺にお参りする際の心得をお聞きました。お参りは普通の見物とは違うので、感謝の気持ちを持って訪れて欲しいとのこと。境内は自由に散歩しても構わないそうですが、説明が欲しい場合には、事前に連絡しておけばお寺の人が出来るだけ対応してくれるとのこと。西念寺境内には、これまで紹介してきたように「お葉つき銀杏」「弁円懺悔の桜」「親鸞聖人御頂骨堂」など、親鸞聖人ゆかりのものが多く残されています。ぜひこの機会に西念寺、そして稲田神社を訪れ、親鸞聖人の心の声に耳を傾けてください。



笠間の秋グルメ

笠間生まれの秋グルメといえば

「いなり寿司」「栗」「常陸秋そば」がおすすめ。

その美味しさをご紹介します。

いなり寿司

日本3大稲荷の1つ「笠間稲荷神社」にちなみ笠間では、「笠間のいなり寿司いな吉会」の皆さんを中心に、いなり寿司を活用して、笠間のPRをする活動を行ってきました。その甲斐あって、2010年9月に一般社団法人 B級ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会（通称：愛Bリーグ）の準会員（関東支部加盟）に承認。今年9月10日・11日に埼玉県行田市で開催される「関東B1グランプリ」に出場します。また、10月には県内外のグルメを活用してまちを紹介する「B級ご当地グルメサミット in 笠間」を開催する予定です。いなり寿司は作るお店によってそれぞれ特徴があり、食べ歩きをしても楽しめます。そばが入ったものや、きのこが入ったもの、見た目が美しいもの…あなたの好みはどれですか？



笠間のいなり寿司
いな吉会の皆さん。



B級ご当地グルメサミット in 笠間

2011.10.9(日)・10日(月・祝) 10:00~16:00

開催場所／笠間芸術の森公園 イベント広場

茨城県内外のB級ご当地グルメが大集合。笠間の「いなり寿司」をはじめ、県内各地から龍ヶ崎の「コロッケ」、ひたちなかの「那珂湊焼きそば」などが参加。県外からは2008年B1グランプリに輝いた「厚木シロコロホルモン」などの愛Bリーグ加盟団体や、被災地福島への支援として福島県内の団体を招待します。バンド演奏などステージイベントも充実。県内マスコットキャラクター選手権(9日のみ)も開催されます。



茨城県の「栗」の出荷量は全国トップ。その中で笠間市は栗栽培面積第1位を誇ります。市内にはプリン、甘納豆、パウンドケーキなど、栗を使った商品が充実。笠間市農政課や観光協会などで配布されているマップ入りの「笠間てくてく栗図鑑」が参考になります。おすすめは「笠間の栗 極み」。笠間産の大粒栗を約1ヶ月冷蔵貯蔵したもので、栗の甘み成分を最大限に引き出した逸品です。

栗専門店「和栗や」が東京・谷中にOPEN!

茨城・笠間周辺で収穫された栗にこだわった栗専門店「和栗や」が、東京の谷中銀座商店街にオープンしました。

〈東京店〉東京都台東区谷中3-9-14 <http://www.waguriya.com/>



常陸秋そば

「常陸秋そば」は茨城が誇るブランドそば。そば特有の香りと風味が強く、そば通の間でも大人気。全国的に高い評価を得ています。笠間は常陸秋そばの産地の1つ。そのため、おいしいそばを食べさせてくれるお店がたくさんあります。店先に出ている「のぼり」や茨城県のホームページ「茨城 常陸秋そばの食べられるお店」などを参考にすれば、比較的簡単においしいそば店が見つかります。また、本誌7ページでもおすすめのお店を紹介しています。

第5回 笠間アートのまちめぐり

9/16(金)～11/27(日)まで開催中

1 笠間日動美術館 2 春風萬里荘 3 茨城県陶芸美術館

4 笠間稲荷美術館(※10/15(土)～) を巡るスタンプラリー。

すべてのスタンプを集めると各館の招待券として利用できます。

問/茨城県陶芸美術館 tel 0296-70-0011

笠間日動美術館 問/ tel 0296-72-2160

<http://www.nichido-garo.co.jp/museum/>

1

企画展 「モーリス・ユトリロと魅惑の風景画」

9/16(金)～11/23(水・祝)

9:30～17:00(入場は16:30まで)

料/大人1,000円、高大生700円、

小中生500円、65歳以上800円

休/毎週月曜(但し9/19・10/10は開館、

9/20・10/11は休館、11/21は特別開館)

コンサート 「天満敦子 ヴァイオリンコンサート」

9/24(土)開演18:00

場/企画展示館1階 ※詳しくはお問い合わせください

講演会「アートの見方・選び方」

講師:長谷川智恵子(当館副館長)

10/8(土)14:00～15:00 場/企画展示館2階

プチコンサート「秋の息吹～ソプラノ & オーボエデュオコンサート」 関真理子(ソプラノ)、天日順子・小澤知美(オーボエ Le Belles)、佐藤真紀(ピアノ)

10/9(日)14:00～15:00 場/企画展示館2階

※講演会とプチコンサートは当日の展覧会チケットで参加可能

春風萬里荘 問/ tel 0296-72-0958

<http://www.nichido-garo.co.jp/shunpu/>

2

夢境庵茶会 11/12(日)10:00～16:00

場/春風萬里荘茶室「夢境庵」 席主:表千家 原田勝子

茨城県陶芸美術館 問/ tel 0296-70-0011

<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

3

追悼 人間国宝 三代徳田八十吉展～煌めく色彩の世界～

9/23(金・祝)～11/27(日)

9:30～17:00(入場は16:30まで)

料/一般700円、高大生500円、小中生250円

休/毎週月曜(但し祝日の場合は翌日)

現代茨城の陶芸展「Layeredー釉の層・土の層ー」
～11/20(日)現代茨城の陶芸展「Organic Formー土の生命体」
11/23(水・祝)～3/4(日)

コレクション展/新所蔵品展 ～9/25(日)

コレクション展/近現代日本陶芸の巨匠たち
9/27(火)～1/29(日)

料/一般300円、高大生250円、小中生150円

※11/13(日)茨城県民の日は入場無料

笠間稲荷美術館 問/ tel 0296-73-0001

<http://www.kasama.or.jp/>

4

中世六古窯と笠間焼 ～つながる技術、伝える芸術～

10/15(土)～11/27(日) 9:00～16:30(入場は16:00まで)

※会期中無休

料/大人300円、高大生200円、小中生100円

※美術館に入館すると、菊人形展入場料割引!!

笠間稲荷神社 問/ tel 0296-73-0001

<http://www.kasama.or.jp/>

小笠原流弓術三三九手挟式

9/23(金・祝)12:30～

かさま落語会

11/5(土)16:00～ 料/前売3,000円、当日3,500円

場/笠間稲荷神社 嘉辰殿

問/ツナカワ tel 0296-72-7127

第104回 笠間の菊まつり

大菊花展及び市民菊花展

10/15(土)～11/23(水・祝)6:00～日没

場/笠間稲荷神社境内

菊人形展 大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」

10/15(土)～11/23(水・祝)

8:30～16:30(入場16:00まで)

料/大人(高校生以上)800円、小中生400円

場/笠間稲荷神社特設会場

私の好きな笠間図画コンクール

10/15(土)～11/23(水・祝)8:30～16:30

場/笠間稲荷神社特設会場(菊人形展会場内)

神事 流鏝馬(やぶさめ)

11/3(木・祝)10:00～、14:00～

場/笠間小学校前特設馬場

かさま・菊あかり回廊

11/5(土)・11/6(日)17:00～20:30

場/笠間稲荷神社境内、笠間稲荷門前通り商店街、竹の小径

問/笠間市商工観光課 tel 0296-77-1101

舞楽祭 11/20(日)10:00～、14:00～

假屋崎省吾の世界 11/20(日)10:00～

場/笠間稲荷神社 稲光閣

問/笠間市商工観光課 tel 0296-77-1101

華道家・假屋崎省吾氏によるフラワーデモンストレーション&トークショー。

笠間工芸の丘 問/ tel 0296-70-1313

<http://www.kasama-crafthills.co.jp/>

菅原良子作陶展 9/7(水)～9/19(月・祝)

秋の夜長を楽しむ器展 9/14(水)～10/2(日)

森のおはなし 9/22(木)～10/2(日)

日本工芸会東日本支部茨城研究会 笠間・九谷交流会
10/5(水)～10/23(日)

柳橋進・修二展 10/5(水)～11/20(日)

佐藤しづ展～野に遊ぶ妖精達～ 10/26(水)～11/6(日)

《ヒロタ・ヨシキ、応陶セヨ!》展 10/26(水)～11/6(日)

渡部源土作陶展 11/9(水)～11/20(日)

土と羊～スタジオ アガタ～ 11/9(水)～11/20(日)

木の器と型絵染め 11/23(水・祝)～12/4(日)

加賀たいち工房展 11/23(水・祝)～12/11(日)

井上卓・大野敦史展 11/23(水・祝)～1/15(日)

丘の仲間たち展2011 12/6(火)～12/18(日)

出雲大社 常陸 問/ tel 0296-74-3000

<http://www.izumotaisha.or.jp/>

秋季大祭 10/16(日)11:00～

御鎮座記念祭・龍蛇神祭 12/16(金)17:00～

すす払い 12/18(日)9:00～

年越大祓祭 12/23(金・祝)14:00～

稲田禪房 西念寺(稲田御坊) 問／tel 0296-74-2042

<http://www.inadagobo.org/>

親鸞聖人報恩講法要 11/2(水)～11/6(日)

※11/5(土)・11/6(日)はお説教あり。講師／大島一声師(富山県)

●笠間火器～Food & Craft 街なか～

9/17(土)～9/19(月・祝)

場／本部 やきもの通り登り窯広場

問／笠間焼協同組合 tel 0296-73-0058

●オープンアトリエ 9/22(木)～9/25(日) 10:00～16:00

場／手越地内

●オープンギャラリー 9/24(土)・9/25(日)

場／南吉原地内

●GARAGE PICNIC BAZAAR vol.6

9/24(土)・9/25(日) 10:00～16:00

場／上加賀田地内

●第5回 かさま新栗まつり

10/1(土)9:00～16:00、10/2(日)9:00～15:30

場／市民センターいわま

問／笠間市農政課 tel 0296-77-1101

●Universally Singing Camp 2011 10/1(土)10:00～22:00

場／笠間芸術の森公園 問／tel 03-6459-2765

●第14回 笠間焼フェア

10/8(土)～10/10(月・祝) 10:00～17:00

場／笠間工芸の丘特設会場

問／笠間焼協同組合 tel 0296-73-0058

●B級で当地グルメサミット in 笠間

10/9(日)・10/10(月・祝) 10:00～16:00

場／笠間芸術の森公園 イベント広場

問／笠間市商工観光課 tel 0296-77-1101

●BIG BAND PICNIC in 笠間

10/9(日)・10/10(月・祝)11:30開演

場／笠間芸術の森公園

問／ビックバンドピクニック in 笠間 実行委員会

(渡辺)tel 090-3318-7480

●かさまの粋～秋の陣 10/12(水)10:30～16:30

笠間市の生産者による、農産物等の展示即売。

場／パークスガーデンプレイス

問／笠間市農政課 tel 0296-77-1101

●かさま狐の嫁入り 10/15(土)16:00～

場／笠間稲荷神社付近 ※荒天時は翌日

問／山中写真館 tel 0296-72-0164

●第5回 ひよいパク選手権 10/16(日)10:00～16:00

場／笠間稲荷門前通り・大型車大祓い所

問／笠間稲荷門前通り商店街協同組合

tel 0296-72-0164(山中写真館内)

●ふるさとまつり in かさま

10/22(土)9:00～16:00・10/23(日)9:00～15:30

場／笠間市みどりの広場(旧畜産試験場跡地)

問／笠間市商工会 tel 0296-72-0844

●いなだストーンエキシビジョン2011

10/27(木)～11/6(日) 10:00～17:00

場／東京ミッドタウンガーデン

11/3(木・祝)～11/6(日) 9:00～16:00

場／笠間芸術の森公園イベント広場

問／稲田石材商工業協同組合 tel 0296-74-2049

●第22回 匠のまつり

11/3(木・祝)～11/6(日) 9:00～16:00

場／笠間芸術の森公園イベント広場

問／笠間観光協会 tel 0296-72-9222

●いばらきストーンフェスティバル2011

11/3(木・祝)～11/6(日) 9:00～16:00

場／笠間芸術の森公園イベント広場

問／茨城県石材業協同組合連合会 tel 0296-75-5458

●笠間骨董我楽多市 11/3(木・祝)～11/6(日) 9:00～16:00

場／笠間稲荷神社前 笹目酒造裏駐車場

問／笠間観光協会 tel 0296-72-9222

●「つくる・はじまる・弁天町」

11/3(木・祝) 9:00～日没

場／弁天町笠間市商工会界隈～茨城県笠間高等学校方面への道路

問／「つくる・はじまる・弁天町」実行委員会(さくらガス/藤枝)tel 0296-72-0119

●六所神社祭礼 11/4(金)～11/6(日)

問／笠間観光協会 tel 0296-72-9222

●第6回 笠間のいなり寿司コンテスト

11/5(土)12:00～16:00 場／笠間稲荷神社

問／笠間市商工観光課 tel 0296-77-1101

●常陸の國 鞠祭(ふいでまつり) 11/8(火)11:00～

場／天正宮公誠殿境内(岩間地区)

問／笠間観光協会 tel 0296-72-9222

●天狗まつり & ファンタジーナイト

11/19(土)11:00～19:00 11/20(日)11:00～15:00

場／岩間すずらんロード(岩間駅前通り)

問／笠間市商工会岩間事務所 tel 0299-45-5711

●第16回 笠間観光フォトコンテスト作品募集

応募期限 11/30(水)まで

問／笠間観光協会 tel 0296-72-9222

●陶のオルゴール展 12/3(土)～12/25(日)

場／陶の小径 問／やまさき陶苑 tel 0296-72-6865

●第6回 かさま陶芸の里マラソン大会 12/18(日)9:00～

場／笠間芸術の森公園

問／笠間市スポーツ振興課 tel 0296-77-1101

●悪態まつり 12/18(日) 場／飯綱神社

問／笠間観光協会 tel 0296-72-9222

あたご天狗の森 スカイロッジ 問／tel 0299-45-6622

http://www.kasama-kankou.jp/atago_skyllodge/

お鍋でぽっかぽかキャンペーン ※要予約(3日前まで)

12/1(木)～12/16(金)

H24.1/11(水)～3/16(金)の平日限定

(土曜、祝前日は除く)

料／4人棟15,100円、6人棟22,600円、12人棟37,800円

宿泊されたお客様にお鍋を無料でサービス！ピリ辛キムチ鍋、ヘルシー鶏鍋、キャベツたっぷりきのこ鍋から選べます。

クリスマスプラン

12/17(土)～12/25(日) ※要予約(3日前まで)

料／4人棟21,800円、6人棟31,800円、12人棟54,800円

笠間の人気スイーツ店「グリュイエール」プロデュースのクリスマスケーキとディナー付プラン。

●栗の家 骨董市 毎月第1・3日曜日 6:00～15:00

場・問／栗の家 tel 0299-45-5124

(※悪天時 誠屋 090-1660-3460)

●バザール de いわま 毎月第2日曜日 9:00～15:00

場／岩間駅東側空き地 問／(根本)tel 090-3009-7883

●笠間いきいき市場 毎月第3日曜日 9:00～15:00

場／笠間市みどりの広場(旧畜産試験場跡地)

問／北山公園管理事務所内いきいき市場事務局

tel 0296-78-3911

笠間 登り窯 復興プロジェクト

笠間再発見

東日本大震災で被災した、かつて笠間焼文化の中心的存在だった「登り窯」の復興プロジェクトが行われています。
笠間市内では県内外から大勢のサポーターが集結し、復興に向けて汗を流しています。 協力／笠間焼協同組合



炎天下の中、汗を流すサポーターの皆さん。



江戸時代から伝わる笠間焼にとって、その製造拠点としての「登り窯」は常に笠間焼文化の中心的存在でした。時が流れ、ガス窯の普及によって次第に登り窯が消えていく中、残っている窯の火をともし続けることは、笠間市民の願いであるとともに、地域の誇りを醸成する上で、欠くことのできない取り組みといえるでしょう。今年3月11日に発生した東日本大震災では、笠間市内に存在するすべての登り窯に大きな傷跡を残しました。この登り窯を修復し、再び火をともしするためには、窯元だけの力では難しく、多くの人々の力が必要です。そこで、登り窯復興の手助けをしてくれるサポーターを募集し、ともに登り窯を復興するための様々な取り組みを行うプロジェクトが、2011年4月29日に設立されました。事務局は笠間焼協同組合に置かれ、サポーターを募集したところ、県内外49名の方から応募がありました。7月9日、松佐陶工房と奥田製陶所で行われた第1回目の登り窯の修復作業には、猛暑の中34名が参加。破損したレンガの片づけや、各種修復作業を、職人さんた

ちと一緒にいき、汗を流しました。千葉や東京のサポーターの皆さんの中には、単独で参加した若い女性の姿が目立っていました。続く8月20日には第2回目のプロジェクトを実施。修復作業だけではなく、登り窯の構造や笠間焼について学べるワークショップ形式のイベントを行いながら、登り窯の復興を進めていきました。

今後は東日本大震災から1年が経つ平成24年3月11日を「登り窯復興の象徴の日」として定め、各種の取り組みを進めていく計画です。当面は、募集期限や参加人数の上限は定めず、広くサポーターを募集していく方針なので、伝統の笠間焼のシンボルでもある「登り窯」の復興プロジェクトに、あなたも参加してみたいはかかでしょうか。

笠間登り窯復興プロジェクト事務局（笠間焼協同組合内）
茨城県笠間市笠間 2481-5 TEL 0296-73-0058
<http://www.kasama-noborigama.info/>

会員特典ファイル

笠間

ファン倶楽部

体験事業 参加者募集

会員特典 いこいの家はなさか

有料会員のみ
使用料100円引き

※同伴3名様まで
休／月曜日
(祝日の場合は翌日)

笠間市橋爪586-4
問／TEL 0296-77-5110
<http://www.kasama-syakyo.jp/hanasaka.html>



★登り窯を復興しよう！

東日本大震災で被害を受けた、市内窯元の登り窯の片付けを行います。作業の後は蕎麦打ち体験をお楽しみいただけます。

実施日時：平成23年9月19日(月・祝) 13:00～16:30 場所：いそべ陶苑(笠間市内窯元)
定員：20名 申込期限：平成23年9月12日(月) 参加料：1,000円

★収穫体験&ジャム作り体験

地元農家の方にご協力をいただき、りんごの収穫とジャム作りを行います。

実施日時：平成23年10月30日(日) 13:00～16:30 場所：笠間クラインガルテン
定員：20名 申込期限：平成23年10月21日(金) 参加料：2,000円

※笠間ファン倶楽部の入会方法、問い合わせ先等については8ページをご覧ください。

陶芸の里 かさま「恋人の聖地」モニュメント除幕式が9/17に、ホームページも開設

「陶芸の里 かさま」として全国で100番目の「恋人の聖地」に選ばれた笠間市。これを記念して、現在モニュメントを建設中です。来る9月17日(土)に笠間工芸の丘 西口駐車場にて、モニュメントの除幕式を行います。記念コンサートやカフェの出店も予定しているので、恋人やご家族など、大切な人たちといっしょに、是非この機会にお越しください。

期日：平成23年9月17日(土)

時間：16:00～19:00

(除幕式は16:30から15分程度を予定)

場所：笠間工芸の丘 西口駐車場

内容：記念コンサート(仲野亜紀子/プロジャズ歌手、ジャパ/ボサノバ)、カフェ出店 **特典**：カップルでお越しいただいた方は、モニュメント道路に設置する陶板をお2人でデザインできます(有料、数に限りあり)

恋人の聖地に選定されたことから笠間市では、独自で「恋人の聖地」のホームページを作成。おすすめのデートコースやイベント情報、サポートショップ情報などを紹介していますので、ぜひご覧下さい。また、笠間市内に「こんな素敵な場所がある!」「隠れハートがある! (東京ディズニーリゾートのような隠れミッキーのようなもの)」などの情報がございましたら、ホームページのお問合せフォームからお送りいただくか、もしくは笠間市商工観光課(電話0296-77-1101)まで直接ご連絡ください。ホームページ等に反映させていただきます。



<http://www.koibito-kasama.jp/>

おすすめのデートスポットやイベント情報などが掲載されています。

FAN FAN VOICE ～読者の声～

- 人情味のある笠間の人たち…被災した笠間が、いち早く元の姿に戻ることを願っています。(東京都・男性)
- 笠間焼の温かみのある作家さんによる独創的・個性的な作品が大好きです。赤ちゃんが生まれてからは、芝生がある笠間芸術の森公園にも遊びに来るようになり、週末の家族の楽しみ場所になっています。(水戸市・女性)
- 笠間と共に生きる! という決心をしています。積極的に笠間のファンを作るべく、笠間の良さを知人に広めていきたいと思っています。そのために笠間ファン倶楽部をうまく利用したいと考えています。(笠間市・男性)
- 21年間、生まれ育った、笠間が大好きです。(笠間市・女性)

GOOD SHOP

観光客が選んだおすすめショップ

INFORMATION

笑顔と真心の元気になるラーメン



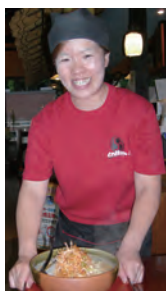
↑友部本店 ↓友部駅前通り店



笑顔と真心を込めたおいしいラーメンで笠間を元気に! ブレンド味噌にたっぷりの胡麻、ピリ辛のネギをトッピングした「げんきらーめん」をはじめ、こだわりいっぱいのラーメン各種が楽しめます。ギョーザや唐揚げなど、オリジナルにこだわったサイドメニューも充実。お得なメールマガジンも配信中です。(shg@e-dm.jpに空メールを送って登録)

げんき屋

(友部本店)
住/笠間市小原4501-1
電/0296-70-5558
営/11:00～23:00
(友部駅前通り店)
住/笠間市平町1717-90
電/0296-71-3777
営/11:00～23:00
※スープが無くなり次第終了



十割そばとナチュラルスイーツの店



そば家 和味(なごみ)

住/笠間市飯合702-1
電/0296-74-2744
営/11:30～18:30
休/木曜
<http://sobaya-nagomi.net>

地元常陸秋蕎麦を中心に自家製粉した粉で打つ、つなぎなしの十割そばと、マクロビオティック(穀物菜食)料理、自然素材を使ったナチュラルスイーツがおすすめです。お店は国道50号から入った田畑に囲まれた一軒家。豊かな自然の中で「ゆったり のんびり」くつろぎの時間を過ごしましょう。数に限りがあるので、電話確認をした方がいいかも。



笠間焼と茨城県の工芸力

金子賢治さん（茨城県陶芸美術館・館長）



昨年4月から茨城県陶芸美術館で仕事をさせていただくようになってから1年と5ヶ月ほどが経った。まさかの大震災で美術館活動も様々な困難を抱え込んだが、幸い頑丈な造りの館は被害が大変軽微で、4月16日には再開館を果たせた。震災6日目に、益子からタクシーでやっと館までたどり着けたのだが、車窓から見る瓦屋根のブルーシートや崩れた稲田石の塀などが痛々しく、被害の大きさが思い遣られた。果たして笠間焼の登窯、穴窯はほぼ全滅。工房、製品、半製品、作品などは大きな被害を受けた。ちょうどその日、館に着くと同時に知り合いの陶芸家と連絡を取ったのだが、なんといま、今年の陶炎祭を開催するか否か、検討会議の真っ最中であるという。そしてこんな時こそ断固開催、ということに決まったという。しかも「30周年記念」という2度と

去年4月から茨城県陶芸美術館で仕事をさせていただくようになってから1年と5ヶ月ほどが経った。まさかの大震災で美術館活動も様々な困難を抱え込んだが、幸い頑丈な造りの館は被害が大変軽微で、4月16日には再開館を果たせた。震災6日目に、益子からタクシーでやっと館までたどり着けたのだが、車窓から見る瓦屋根のブルーシートや崩れた稲田石の塀などが痛々しく、被害の大きさが思い遣られた。果たして笠間焼の登窯、穴窯はほぼ全滅。工房、製品、半製品、作品などは大きな被害を受けた。ちょうどその日、館に着くと同時に知り合いの陶芸家と連絡を取ったのだが、なんといま、今年の陶炎祭を開催するか否か、検討会議の真っ最中であるという。そしてこんな時こそ断固開催、ということに決まったという。しかも「30周年記念」という2度と

いスローガンを封印し、「東日本、東北支援」を高らかに謳ったのである。これは素晴らしいことだと思った。そして単にそれは一機関が支援活動を行ったということにとどまらず、日本の手作りのもの作りの長い蓄積、エネルギー、底力、そういったものを感じさせるものだと思った。日本の手作りのもの作り、工芸、技術は、縄文土器以来、1万3千年の歴史を持っている。それが古代、中世を経て、近世、特に江戸時代300年の平和な時代に各藩で育まれたことによって、非常に高度に発展せしめられたのである。これがいろいろな紆余曲折がありつつも、現代まで受け継がれていることに大きな特徴がある。ここが欧米と大きく違うところで、ヨーロッパでは産業革命以降、産業が手作りのもの作りを根絶やしにしつつ機械化していった。日本では手作り産業が現代まで綿々と受け継がれつつ、機械工業が派生していくという経過を辿ったため、陶芸を例にとると、全国各地に残された窯業地から近代作家

としての陶芸家が続々と出現した。しかしそれがなくなったヨーロッパでは、美術学校で美術を学んだ人たちの一部がかつて滅ぼされていった手作りの産業の素材＝土を「表現の素材」にpick upするという形で、如何にも細々と陶芸家が登場したのである。だから量でも質でも日本が圧倒的に豊かなのである。笠間も例外ではない。江戸中期に信楽から伝えられ、起こされた笠間焼。1万3千年の歴史のDNAをしっかりと持っている。益子焼の兄貴分でもある。笠間のみならず、茨城県の手作りのもの作りには先の稲田石細工、そして真壁の石燈籠、また世界遺産の無形版、ユネスコの無形遺産に登録された結城紬がある。また栗野春慶塗、西の内紙など県指定の無形文化財、さらに大子の漆掻きなども注目される。これら全体が笠間焼と連携し、一体となって日本全国に、そして世界にその良さを発信してもらいたい。震災復興、支援の過程で垣間見た笠間のパワーはその中心になれるのではないか。

「恋人の聖地」サポートショップ募集 ご協力ありがとうございます！



笠間市では、サポートショップとして、「恋人の聖地」の趣旨に賛同していただける、市内に事業所を構える方を募集していましたが、現在、8店舗の事業主の方々に登録・ご協力をいただいています。飲食店、雑貨屋、カーショップなど様々な顔ぶれです。詳しくは、笠間市「恋人の聖地」ホームページのサポートショップ（7ページに関連記事あり）をご覧ください。サポートショップは随時募集中です！



←笠間発見伝ブログはこちら
笠間発見伝の魅力を配信中！



笠間のいな吉ブログはこちら→
観光・イベント情報や様々な取り組みなどを配信中！



笠間ファン倶楽部 * 会員募集中 *

笠間ファン倶楽部は、笠間の隠れた情報を発信し、交流人（外の眼）が多く、笠間人（内の眼）とふれあえる場をつくる新しい仕組みです。ぜひ皆さんお申し込み下さい。＊無料会員と有料会員があります。

笠間市役所 商工観光課

〒309-1792 茨城県笠間市中央三丁目2番1号
TEL 0296-77-1101 FAX 0296-77-1146
E-mail kasamafan@city.kasama.ibaraki.jp

＊おねがい＊
メールの際にはタイトルに「笠間ファン」と記載してください。

笠間アクセスマップ

電車からのアクセス

東京方面から

上野→(JR常磐線・特急65分)→友部→(JR水戸線10分またはかさま観光周遊バス10分)→笠間
上野→(JR常磐線)→岩間→(JR常磐線6分)→友部→笠間

東北方面から

郡山→(JR東北新幹線80分)→小山→(JR水戸線60分)→笠間
→(JR水戸線10分)→友部→(JR常磐線6分)→岩間

車からのアクセス

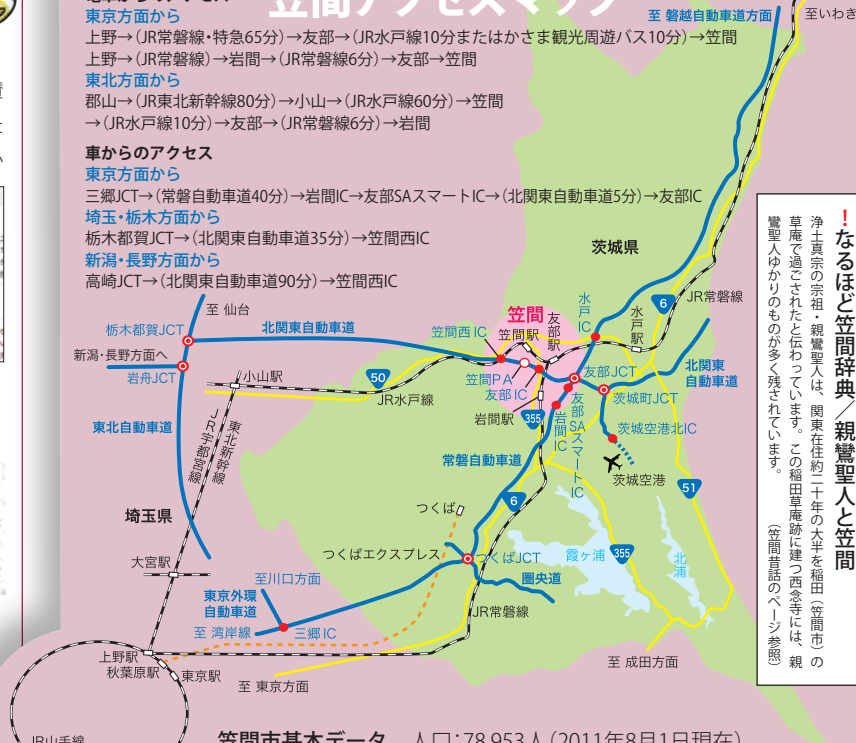
東京方面から

三郷JCT→(常磐自動車道40分)→岩間IC→友部SAスマートIC→(北関東自動車道5分)→友部IC

埼玉・栃木方面から

栃木都賀JCT→(北関東自動車道35分)→笠間西IC
新潟・長野方面から

高崎JCT→(北関東自動車道90分)→笠間西IC



笠間市基本データ 人口:78,953人(2011年8月1日現在)
面積:240.25km² 駅の数:6駅 高速道路ICの数:4箇所

この機関誌は、再生紙、大豆油インクを使用しています。

！なるほど笠間辞典／親鸞聖人と笠間
浄土真宗の宗祖・親鸞聖人は、関東在住約二十年を稲田（笠間市）の草庵で過ごされたと伝わっています。この稲田草庵跡に建つ西念寺には、親鸞聖人ゆかりのものが多く残されています。（笠間市のページ参照）